

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年12月14日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年12月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<b>【ガラスバッジ(個人線量計)の紛失】</b> 当社社員が管理区域への入域のため、入退域管理棟着替所で防護服に着替えた際、ガラスバッジ収納ポケットフタの留め具が開いており、ガラスバッジが紛失していることに気付いた。その後、ガラスバッジの搜索は、前回退域した際の脱衣時を含め経路探索したが、発見できなかった。 同日、個人線量管理箇所ガラスバッジの紛失を報告した。 今後、被ばく線量評価を行う予定。	G II
2	<b>【建屋内RO(A系)RO継ぎ手部からの漏えい】</b> 建屋内RO(A系)を試運転のため起動した際、2つのROユニットそれぞれの濃縮水配管との継ぎ手部より微小な漏えいを確認した。 なお、当該継ぎ手部には飛散防止用カバーを取付けているため、装置外への漏れはない。今後、当該継ぎ手部の修理を行う。	G III